

公表

事業所における自己評価結果

| 事業所名     |    | 医療型児童発達支援センター つくし園                                                                                                                       |    |     |                                                                        |                                                                                  | 公表日            |
|----------|----|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|-----|------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------|----------------|
|          |    |                                                                                                                                          |    |     |                                                                        |                                                                                  | 令和 7 年 3 月 1 日 |
|          |    | チェック項目                                                                                                                                   | はい | いいえ | 工夫している点                                                                | 課題や改善すべき点                                                                        |                |
| 環境・体制整備  | 1  | 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。                                                                                                             | 4  | 2   |                                                                        | 基準は満たしているが、子どもの特性（発達障がいや重心等）に合わせたスペースの設定ができるとよい。また、多動児の利用も増えているので通園の部屋だけでは狭く感じる。 |                |
|          | 2  | 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。                                                                                                          | 5  | 1   |                                                                        | 基準は満たしているが、多動児の利用も増えているので直接処遇職員を増やしてもよいのでは。児発管は兼務である為、負担が大きい。                    |                |
|          | 3  | 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。                                                    | 5  | 1   | パーテーションを使用したり、別室（空き部屋等）を借りて午睡や経管栄養を行っている。                              | 食事する場所と活動する場所の区別があるとよい。<br>経管栄養を行っている利用児が落ち着いて食事時間を過ごせるスペースがあるとよい。               |                |
|          | 4  | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。                                                                                    | 4  | 2   |                                                                        | 保護者同伴通園の為、親子で居ると狭い。                                                              |                |
|          | 5  | 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。                                                                                               | 5  | 1   |                                                                        | 必要に応じて、クールダウンできる場所があるとよい。<br>（必要かどうかの検討は必要）<br>個別の活動部屋があるとよい。                    |                |
| 業務改善     | 6  | 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。                                                                                          | 5  | 1   |                                                                        |                                                                                  |                |
|          | 7  | 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。                                                                                     | 7  | 0   | 適宜保護者へ聞き取りを行っている。<br>年度末アンケート等を行い、意見・要望に対して回答し提示している。                  |                                                                                  |                |
|          | 8  | 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。                                                                                                   | 7  | 0   | 適宜情報交換を行い、改善している。                                                      |                                                                                  |                |
|          | 9  | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。                                                                                                         | 4  | 4   | 定期的に苦情解決委員会を実施している。また、外部による監査で業務についての評価が行われており、改善が必要な場合は伝達と改善報告を行っている。 |                                                                                  |                |
|          | 10 | 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。                                                                                        | 7  | 0   | 職種毎に研修を行い、情報共有の機会も設けている。                                               |                                                                                  |                |
| 適切な支援の提供 | 11 | 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。                                                                                                                  | 0  | 8   |                                                                        | 令和7年度より公表。                                                                       |                |
|          | 12 | 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。                                                                       | 6  | 0   | カンファレンス等で情報共有の場を設けている。<br>標準化された発達評価や専門職による身体や言葉の評価を行った上で作成している。       |                                                                                  |                |
|          | 13 | 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。                                                         | 6  | 0   | 定期的にカンファレンスを行い、作成している。                                                 |                                                                                  |                |
|          | 14 | 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。                                                                                                      | 6  | 0   | カンファレンス等で情報共有の場を設けている。                                                 |                                                                                  |                |
|          | 15 | こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。                                                      | 6  | 0   |                                                                        |                                                                                  |                |
|          | 16 | 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。 | 6  | 0   |                                                                        |                                                                                  |                |
|          | 17 | 活動プログラムの立案をチームで行っているか。                                                                                                                   | 6  | 0   | 保育士が週替わりで立案し、ミーティングにて対応等を考えている。                                        |                                                                                  |                |
|          | 18 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。                                                                                                                 | 6  | 0   | 活動内容がマンネリ化してしまうこともあるが、同じ活動を繰り返すことで、子ども達も覚え活動を楽しむことができています。             |                                                                                  |                |

|              |    |                                                                                                            |   |   |                                                                                                |                                  |
|--------------|----|------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---|---|------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------|
|              | 19 | こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。                                                      | 6 | 0 |                                                                                                |                                  |
|              | 20 | 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。                                            | 4 | 2 | チーム全体では、毎回は行っていないが、必要に応じて連携を図っている。保育士対応の小集団保育では、ミーティングを行い活動等の確認を行っている。活動内容によっては、訓練士に相談等を行っている。 |                                  |
|              | 21 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。                                                     | 4 | 2 | チーム全体では、毎回は行っていないが、必要に応じて連携を図っている。個別観察記録記入時に、振り返りを行っている。                                       |                                  |
|              | 22 | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。                                                                     | 6 | 0 | 個別観察記録記入時に、振り返りを行い、検証・改善につなげている。                                                               |                                  |
|              | 23 | 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。                                                          | 6 | 0 | 必要に応じて、カンファレンスを行い個別支援計画の見直しを行っている。                                                             |                                  |
| 関係機関や保護者との連携 | 24 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。                                                   | 4 | 1 | 相談支援事業所が当園（ポケット）の場合は、カンファレンスに出席してもらっている。出席できない場合は資料や記録を配布している。                                 |                                  |
|              | 25 | 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。                                                 | 2 | 1 |                                                                                                |                                  |
|              | 26 | 併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。 | 6 | 0 | 就学や他児発、保育園・幼稚園等を利用する際には、情報提供書を作成し伝達を行っている。必要に応じて、通園見学（訓練の様子等）も行っている。                           |                                  |
|              | 27 | 就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。                                                     | 6 | 0 | 情報提供書を作成し、統一した関わりができるようにしている。必要に応じて、通園見学・訓練見学をさせていただいている。                                      |                                  |
|              | 28 | (28～30は、センターのみ回答)                                                                                          | 1 | 2 |                                                                                                | 来年度より、地域障害児支援体制強化事業にて支援体制の強化を図る。 |
|              |    | 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。                                                 |   |   |                                                                                                |                                  |
|              | 29 | 質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外泊研修に参加させているか。                                                         | 4 | 2 |                                                                                                | より専門性を高めるために研修の充実を図る。            |
|              | 30 | (自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。                                                                  | 3 | 3 | 人員体制が最低基準のため、サポート体制が整えば参加している。                                                                 | 人員体制を整えていく。                      |
|              | 31 | (31は、事業所のみ回答)                                                                                              |   |   |                                                                                                |                                  |
|              |    | 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。                                                       |   |   |                                                                                                |                                  |
|              | 32 | 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。                                                                | 1 | 5 | 保育園等を併用している子どもさんはいるが、園として活動する機会はない。                                                            |                                  |
|              | 33 | 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。                                                           | 6 | 0 | 相談に限らず、日々の様子を保護者と話している。                                                                        |                                  |
|              | 34 | 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。                               | 4 | 2 | 家族支援プログラムとしては実施していないが、保護者勉強会を随時開催している。                                                         |                                  |
|              | 35 | 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。                                                                       | 6 | 0 |                                                                                                |                                  |
|              | 36 | 児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。                             | 6 | 0 |                                                                                                |                                  |
|              | 37 | 「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。                                                         | 6 | 0 |                                                                                                |                                  |
|              | 38 | 定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。                                                         | 6 | 0 |                                                                                                |                                  |

|                                      |    |                                                                                            |   |   |                                             |                                              |
|--------------------------------------|----|--------------------------------------------------------------------------------------------|---|---|---------------------------------------------|----------------------------------------------|
| 保<br>護<br>者<br>へ<br>の<br>説<br>明<br>等 | 39 | 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。 | 3 | 3 | 保護者同伴通園なので、保護者と分離の時間を設け、保護者同士で交流できるようにしている。 | 保護者同士の交流はあるが、きょうだい同士の交流はほとんどない。              |
|                                      | 40 | こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。               | 8 | 0 |                                             |                                              |
|                                      | 41 | 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。                   | 8 | 0 | 毎月えんだよりを発行している。                             |                                              |
|                                      | 42 | 個人情報の取扱いに十分留意しているか。                                                                        | 8 | 0 |                                             |                                              |
|                                      | 43 | 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。                                                      | 8 | 0 |                                             |                                              |
|                                      | 44 | 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。                                                      | 0 | 6 |                                             | 行事には、ご家族も参加されているが、地域の方との交流はない。               |
| 非<br>常<br>時<br>等<br>の<br>対<br>応      | 45 | 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。            | 3 | 5 | 散歩へ行く際に、避難経路の確認を行っている。                      | マニュアルはあるが、保護者に周知されていない。登園日で偏りがあるため日程を調整していく。 |
|                                      | 46 | 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。                                  | 6 | 2 |                                             |                                              |
|                                      | 47 | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。                                                        | 6 | 2 |                                             |                                              |
|                                      | 48 | 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。                                                     | 8 | 0 | 通園利用開始前又は通園初日に、栄養士より聞き取りを行っている。             |                                              |
|                                      | 49 | 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。                               | 8 | 0 |                                             |                                              |
|                                      | 50 | こどもの安全確保に関して、家族等との連携を図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。                                  | 4 | 4 |                                             |                                              |
|                                      | 51 | ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。                                                    | 8 | 0 | 怪我をした際には、再度同じ事がないように予防対策を考え職員が回覧している。       |                                              |
|                                      | 52 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。                                                       | 8 | 0 | 年に1回は必ず虐待防止に関する研修会を実施している。                  |                                              |
|                                      | 53 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。               | 6 | 1 | 契約時に説明を行っているが、対象児がいない。                      | 今後、対象児ができた場合は十分に説明を行う。                       |